



〒892-0841
鹿兒島市照国町13-42
カトリック鹿兒島司教区
電話099 (226) 5100
振込口座 02030-2-8359
編集発行 教区広報部
1部60円年間千共1100円



司教の手紙

聖母月に寄せて —聖母マリアと平和—

鹿兒島教区司教 中野 裕 明

教区の皆さまお元気でしょうか。

わたしたちはこの5月を聖母月として過ごします。それは、5月が自然の中に、生命の充満を感じとれる季節でありますし、典礼において復活したキリストがもたらした永遠の生命を賛美する、復活節にあたるからです。

聖母マリアは、わたしたち信仰者の母として、これらの神秘に寄り添ってくださいます。幼子が母親に思慕の念を抱くように、わたしたちは聖母に敬慕の念を抱きます。

それは理性と意志によるものというよりも情緒の念によるものです。この情緒の念は母親の胎内に宿った



ときから芽生えるもので、母と子の深い絆を表しています。ゼロ歳から小学校に行くまでは、抱擁による繋がりが、中学生まではしつかり手をつなぐ繋がりが、高校生以降は、心による繋がりが不可欠だと言われます。

情緒は、感情に起因してきますのでそれをうまく育てることで、人間の喜怒哀楽をうまくコントロールして、それを藝術の域にまで昇華することが出来ます。

聖母マリアと幼子イエスとの繋がりがそのようなものであったと言えます。その証拠に、聖母マリアを題材にした絵画や彫刻等の傑作は、御子イエスとの繋がりを(関係)を見事に表現したものです。

聖母マリアのことを観想するとき、この情緒の念に注目する必要があります。

さて、教皇フランシスコは、3月25日、神のお告げの祝日に、「

「ロシアとウクライナの汚れなき心で奉獻する祈り」をなさげました。この祈りは、子としての教皇が教会を代表して、聖母マリアに懇願する形の祈りになつていきます。教皇は次のように祈りました。

「(前略)聖なる母よ、悲惨な罪の中で、疲れと弱さの中で、悪と戦争という理解しがたい不条理の中で、神はわたしたちを見捨てることなく、愛のまなざしを注ぎ続け、わたしたちをゆるし、再び立ち上がらせようと望んでおられることを、あなたは思い出させてください。神はあなたをわたしたちにお与えになり、あなたの汚れなき心を教会と人類のよりどころとしてくださいました。神の恵みによって、あなたはわたしたちとともにいて、歴史の最も厳しい曲がり角においてもわたしたちを優しく導いてくださいました。わたしたちはあなたに頼み、あなたのみ心の扉をたたきます。あなたは、愛する子であるわたしたちをいつも見守り、回心へと招いてくださいます。この暗闇の時、わたしたちを救い、慰めに来てください。」

生涯をかけて養成される司祭

聖香油ミサで中野司教がメッセージ

4月12日(火)午前11時から鹿兒島カテドラル・ザビエル記念聖堂で、聖香油のミサがあった。

本来なら聖木曜日になさげられるこのミサだが離島を多く抱える鹿兒島教区ならではの配慮から近年、火曜日に移して実施されており、この日のミサには奄美大島地区を除く県内各地から20人を超える司祭、助祭

解くことが出来になります。わたしたちはあなたに信頼を寄せています。特に、この試練のとき、あなたはわたしたちの願いを軽んじることなく、助けに来てくださると確信しています。(後略)

幼い子どもにとって、恐怖と不安は精神を委縮させ、血流を滞らせる結果、心身の成長が妨げられることは多くの賢者によって明らかになっています。食べ物を取ること、身体の成長はまかなえませんが、

愛を摂取することなしに、心(精神)は成長しないのです。多くの人はこのことに気づいていません。科学技術の目覚ましい発達により、今日、あらゆる面でわたしたちの生活は便利になりましたが、その分、「自分だけ、お金だけ、今だけ」の風潮が蔓延していることも事実です。

母と子の絆、聖母マリアと信仰者であるわたしたちとの絆をこの聖母月に振り返ってみたいものです。

(病者のための油、洗礼志願者のための油、聖香油)がそれぞれ祝別、聖別されたほか、新しい赴任先に向かう司祭が信仰宣言するとともに忠誠の誓約を行つた。

4月のコンベンツス

4月12日(火)聖香油ミサ後、昼食を挟んでザビエル教会聖堂で全司祭集会(コンベンツス)が開催された。

会議では、中野司教から教区シノドスが部会制から委員会制に移行するにあたっての展望と手順が説明されたほか、事務局からザビエル列聖400年記念行事や駐日教皇大使の司牧訪問を含む年間行事予定についての説明、今年度の役職担当で変更があったものが紹介された。



で頂点を迎えるのではなく、生涯かけて熟成されていくもの。司祭同士で兄弟的な交わり深め、互いに成長していくこと」とメッセージを送った。その後、司祭たちは、司祭の約束を更新し、またその後、司祭が全力で使命を果たすことができるよう、司教がすべての人に仕えることができるよう祈りをささげた。

ミサの中では、それぞれの小教区に持ち帰られる三つの油

教区人事

▼李秉徳神父(鴨池教会主任司祭)は垂水教会主任司祭を兼任

司祭の消息

▼坂本進神父は、4月5日にこれまでの有料老人ホームから特別養護老人ホーム「オアシスケア清水」(鹿兒島市稲荷町17-35)に居を移した。

第2回聖書愛読運動

4月17日(日)第2回教区聖書愛読運動「旧約聖書・歴史書編」は、40人の参加でスタートした。申し込みは今後も随時受け付ける。

想会が行われた。次回のカトリック教師の会は6月12日(日)開催の予定。



▼カトリック教師の会
4月10日(日)午後3時から教区本部を主会場に中野司教指導のもと聖週間黙

短 信

▼ウクライナのために祈る
レデンプトール宣教修道女会の呼びかけにこたえた信者や市民が4月13日(水)16時から鹿兒島市唐湊の旧司教館で「ウクライナに想いを寄せて」の集いを開いた。また有志たちは、毎週火と木曜の16時から2時間、鹿兒島中央駅前ウクライナの平和を訴えるアピールを行っている。

信徒のための信仰生活指針

第2バチカン公会議に基づく信徒固有の霊性

①

鹿兒島司教区シノドスの答申及びバチカンの2023年秋に開催される世界代表司教会議(シノドス)の準備作業として提出していただいたアンケート結果によれば、自分たちの信仰生活をもっと充実したものとするためカテキズム(要理)を学びたいという意見がたくさん寄せられています。ご希望に沿うための一つとして、故・糸永司教様がご逝去された「信徒のための信仰生活指針」を連載することになりました。本書は2003年に配布されたもので記憶にあられる方もおられると思いますが、20年も前に出されているのでご存じない方もおられるでしょう。じっくり味わって日々の信仰生活に生かしていただきたいと思います。

キリスト信者である信徒は、頭であるキリストのもとに呼び集められた神の民・教会の中で、この上ない尊厳と使命を帯びています。第2バチカン公会議とそれに続く教会の教えは、教会における信徒の身分とカリスマの重要性をいっそう明らかにしているのです。

そこで、「信徒のための信仰生活指針」を示して、信徒が行動的に教会生活に参加するための参考に供したいと思います(註1)。

第一章 教会の神秘にあずかる信徒

「教会は神秘です。なぜなら、水と聖霊によって生まれ、神との交わりによって、歴史の中でこれを現し、また伝えるよう招かれているすべての人に、父と子と聖霊の愛といのちが賜物としてまつた無償で与えられているからです」(「信徒の召命と使命」8)。

世俗の中に生きている信徒は、キリストへの信仰と入信の3秘跡、すなわち洗礼と堅信と聖体の秘跡、及びその他の諸秘跡によって、「神の民」「キリストのからだ」「聖霊の神殿」である教会に結ばれ、その神秘にあずかっているのです。

新約聖書を読み終えて 第1回聖書愛読運動の感想

「聖書愛読運動」を教区行事として下さりありがとうございました。高齢87歳の私も参加させて頂きました。最後は涙でした。感謝。

◆日々の祈りにつながりました。

◆教区をあげて神様への賛美と感謝を込めて聖書通読できました。

◆すことと嬉しく、神様のみ国の実現のために最大のお恵みだと感謝しております。ありがとうございます。

◆身近に聖書を置いて空いた時間にも読むようにしました。黙示録を読み上げたときとても感動しました。大変良い機会を頂き感謝しています。

に召されているのです。これを「聖性への普遍的召命」(「教会憲章」第5章)と呼びます。

しかし、信徒は、司祭や修道者と違って、世俗に生きる、現世的な事からに従事するよう召されています。これが信徒固有の召命です。世俗に生きて自分を聖化し、また、家庭や社会を福音化して神に奉獻することを通して聖性を追求するのであります。それは時として困難を伴いますが、尊い使命であり、必要な恵みの助けがねに保証されています。

註1) 信徒の信仰生活の具体的な手引きとして、ヨハネ・パウロ2世使徒的勸告「信徒の召命と使命」(1991年 カトリック中央協議会)があります。本稿も主としてこれを参考にしました。

◆「聖書愛読運動」を教区行事として下さりありがとうございました。高齢87歳の私も参加させて頂きました。最後は涙でした。感謝。

◆日々の祈りにつながりました。

◆教区をあげて神様への賛美と感謝を込めて聖書通読できました。

◆すことと嬉しく、神様のみ国の実現のために最大のお恵みだと感謝しております。ありがとうございます。

◆身近に聖書を置いて空いた時間にも読むようにしました。黙示録を読み上げたときとても感動しました。大変良い機会を頂き感謝しています。

2022年きぼうの電話 第34回カウンセリング講座日程

回	月	日	曜	講師	内容
	6	11	土	事務局(説明会)	14時・19時の2回
第1回	6	17	金	中野裕明司教	共に歩むために I
第2回	6	24	金	大坪治彦先生	カウンセリングの基礎知識 I
第3回	7	1	金	大坪治彦先生	カウンセリングの基礎知識 II
第4回	7	8	金	有倉巳幸先生	職場の人間関係
第5回	7	15	金	有倉巳幸先生	人間関係の中のストレス
第6回	7	25	月	シスター澤	子どもと女性の人権についてI【公開講座】
第7回	8	1	月	山口寛子先生	子どもと女性の人権についてII【公開講座】
第8回	8	26	金	事務局	親睦会
第9回	9	2	金	今林俊一先生	家族の人間関係
第10回	9	9	金	今林俊一先生	青少年の心理 I
第11回	9	16	金	今林俊一先生	青少年の心理 II
第12回	9	30	金	上坪憲治先生	クライアントに寄り添う心 I
第13回	10	7	金	上坪憲治先生	クライアントに寄り添う心 II
第14回	10	14	金	大坪治彦先生	よい聞き手となるために I
第15回	10	21	金	大坪治彦先生	よい聞き手となるために II
第16回	11	4	金	大坪治彦先生	よい聞き手となるために III
第17回	11	11	金	大坪治彦先生	よい聞き手となるために IV
第18回	11	18	金	事務局	電話カウンセリングの実際①
第19回	11	25	金	中野裕明司教	共に歩むためにII修了式・認定式
第20回	12	2	金	事務局	電話カウンセリングの実際①&懇親会
※	12	9	金	事務局(研修)	新人オリエンテーション①
※	12	12	月	事務局(研修)	新人オリエンテーション②
※	12	13	火	事務局(研修)	新人オリエンテーション③

今年もカウンセリング講座開講 鹿兒島きぼうの電話

◆「聖書愛読運動」を教区行事として下さりありがとうございました。高齢87歳の私も参加させて頂きました。最後は涙でした。感謝。

◆日々の祈りにつながりました。

◆教区をあげて神様への賛美と感謝を込めて聖書通読できました。

◆すことと嬉しく、神様のみ国の実現のために最大のお恵みだと感謝しております。ありがとうございます。

◆身近に聖書を置いて空いた時間にも読むようにしました。黙示録を読み上げたときとても感動しました。大変良い機会を頂き感謝しています。

+KABAYAN SEKSYON+ Pagpapatotoo sa Ating Pananampalatayang Eukaristiko

Sa konteksto ng iba't ibang relihiyon sa Asya kung saan mababa sa tatlong bahagdan ay Kristiyano, ang pangunahing paraan para mailahad ng mga Kristiyano ang kanilang pananampalataya ay sa pamamagitan ng pagsasabuhay nito.

Ibig sabihin, aakayin ng mga Kristiyano ang mga kapatid nila buhat sa ibang pananampalataya (tulad ng mga Muslim at Hindu) patungo sa Diyos sa pamamagitan ng kanilang mga gawang katulad ni Krsito.

Kalimitan ang patotoong ito ay nasa anyo ng presensya at pakikipagkaisa sa kapwa tao, dinadamayan sila at ipinadarama sa kanila na sila'y tinatangap; totoo ito sa particular na paraan para sa mga nabubuhay sa kahirapan o yaong mga nasa laylayan ng lipunan.

Minsan sinabi ni Madre Teresa na kapag nakilala natin si Kristo na binibiyak sa Eukaristiya, mas madali natin siyang makikilala sa mga biyak na katawan ng mga mahihirap, mga binabalewala at mga di tinatanggap.

Kung mapapahalagahan natin kung paanong ibinuhos ni Kristo ang kanyang dugo at buhay para sa atin, mas madali nating maibubuhos ang buhay natin sa paglilingkod sa mga nangangailangan.

Bilang mga tao ng Eukaristiya layon nating itaguyod ang magandang samahan at "pagkakaisa" sa kasalukuyang mundo na labis na naghahangad ng kapayapaan.

Sa kontekstong ito, ang mananampalatayang laiko ay may mahalagang papel na maaaring ganapan, sa pamilya, politika, edukasyon, kultura at panlipunang kaligiran.

Kung lahat ng mga nanampalataya sa Panginoon Hesus, ang Eukaristiya ay ang daan para mas maranasan ang buhay na galing sa Diyos, ang buhay sa espiritu na nagbibigay ng kapayapaan at kagalakan sa kaluluwa.

Isang Tinapay, Isang Pamilya (Fr. Dino Orolfo)

◆「聖書愛読運動」を教区行事として下さりありがとうございました。高齢87歳の私も参加させて頂きました。最後は涙でした。感謝。

◆日々の祈りにつながりました。

◆教区をあげて神様への賛美と感謝を込めて聖書通読できました。

◆すことと嬉しく、神様のみ国の実現のために最大のお恵みだと感謝しております。ありがとうございます。

◆身近に聖書を置いて空いた時間にも読むようにしました。黙示録を読み上げたときとても感動しました。大変良い機会を頂き感謝しています。

◆「聖書愛読運動」を教区行事として下さりありがとうございました。高齢87歳の私も参加させて頂きました。最後は涙でした。感謝。

◆日々の祈りにつながりました。

◆教区をあげて神様への賛美と感謝を込めて聖書通読できました。

◆すことと嬉しく、神様のみ国の実現のために最大のお恵みだと感謝しております。ありがとうございます。

◆身近に聖書を置いて空いた時間にも読むようにしました。黙示録を読み上げたときとても感動しました。大変良い機会を頂き感謝しています。

聖書愛読運動「新約聖書コース」完走者

永井和子さん(指宿教会)、北原卓枝さん(母間教会)、濱崎千鶴修道女、米田綾子修道女、廣瀬幸子修道女(純心鹿兒島修道院)、網屋澄子さん、稲森郁美さん、池田和恵さん、打越えい子さん(鴨池教会)、鎌田三郎さん(志布志教会)、大重りつ子さん(指宿教会)、服部妙子さん(吉野教会)、平玲子さん(天熊小教区)、藤木正雄さん(瀬留小教区)、児玉ムツ子さん、岩田代慈子さん(県外)、安藤克子修道女、澤ヤエ子修道女(レデンプトール宣教修道女会)、鶴巻保子修道女(純心聖母会・長崎)、松下珠紀修道女(シヨファイユの幼きイエズス会西仲勝修道院) ※4月17日現在

わたしの信仰体験

ロザリオのお祈りで聖霊の恵みを頂き手術成功

玉里教会信徒 恵 眞一郎

今年、平和で安寧を祈願した令和の2年目を迎えましたが、100年に一度とも言われる悪夢の社会生活を強いられることとなり、新型コロナウィルス感染拡大という未曾有の国難となりました。

昔、コロナと言えばトヨタ自動車の「コロナ」、有名な車でしたが、現代のコロナは全世界を脅かすやつかいな病気ウィルスですね。

教会では、ごミサもなく寂しい雰囲気となっておりますが、お祈りで1人ロザリオのお祈りをしていると1連、2連と進むにつれ、後ろの方からまた1人、また1人とお祈りが始まります。その声がまるでやかで、心地よく聞こえ、聖霊の尊い響きとして感じることもあります。

ロザリオのお祈りの素晴らしさを感じ信仰の賜物として真摯に胸におさめ、お祈りを通して素直に受け入れ、新型コロナ感染拡大の終息をも願う祈り今日この頃です。

ある日、体調に異変があった。前回は踏まえ具体的に復活の体について考えてみたいと思います。

私たちの関心はいつの頃の「自分」で復活するのかという点でしょう。人間は神様の被造物であり、神様はいつも見守っていてくださるのですから、その人の本当に一番良い時をご存知なのは神様だけです。ですから「その時」の魂と身体をもつて復活すると考えられます。

ここで注意が必要なのは「神様にとつて」であり、「自分にとつて」ではないということです。

入院し、精密検査をしてもらった結果、「胆石症の悪化」によるものと診断され、「胆管に悪い石があるため早急に手術が必要」と先生から診断を頂き、その日の内入院・手術の準備などを済ませて帰宅しました。そしていつもの通り、寝る前に祭壇に向かつて1日の反省を込めロザリオのお祈りをして、病院での診断結果も報告して寝ました。

寝静まった時のこと、夢ともつかぬ初めての言葉が頂きました。「最後の晩餐」のイエズス様とお弟子さん達全員の寝床の周りにお立ちなつて「原語でのお祈りが始まったのです。お祈りが終わると『ぶどう酒』での祝福を頂き、お祈りの内容も祝福の意味も分からず寝ていた私に突然、鉄の杖をお持ちになつたモーゼが寝床のそばに立たれて言われました。

「主イエズス・キリスト様からあなたは、聖霊の祝福を頂きましたから、身体の悪いところを早く手術してもらい

うことです。いくら私たちが若い頃で復活したいと思つても決めるのは神様です。

また、「私」以外に復活することはあり得ません。当然のことながら自分が生きてきた中で「自分」で復活するのです。

時折、誤解されることなのですが、人は死んだときの状態で復活するわけでは

私を含めて3人でした。手術は、胆管検査及び胆のう摘出手術のため全身麻酔をして、腹部超音波・MRI等検査のため、腹部に4か所ほどの穴をあけて、「内視鏡」による摘出術のことでした。

ただ大きく悪い石が多いことで切除できない場合は、「鳩尾」から腹部までを開き手術に切り替える旨の詳しい説明を受け、手術準備のため治療室に入つて、点滴の注射や全身麻酔をして手術室へと運ばれて行きました。

手術が終了し集中治療室で3人とも点滴など術後の治療を受け、少しずつ麻酔から目がさめ、気がつき始めて来

ると、私以外の2人の患者さんは痛さに苦しみ、我慢できない状態でした。

私は言いますと、朝まで痛くもなく静かに目覚め、手にしているロザリオを握り、お祈りをしました。その間、巡りされる看護士さん達から「我慢などしないように」と、2〜3回アドバイスを頂きました。

朝の巡回治療が始まつて手術をしてくださった執刀医やスタッフの方々が術後の経過などの診察に来られました。その時、執刀医の先生は「おなか」まわりを診断されて、手術後の傷口がきれいになつて驚かれました。

青年会黙想会を終えて

＝参加者感想＝

3月27日(日)午後2時からマリア山荘で青年会の四旬節黙想会が行われた。参加した青年の感想文を以下に紹介する。

3月の少し肌寒さも残る日曜。世間はまん防解除後初めての花見日和となり、浮足立っている中、私は、洗礼後初めてとなる黙想会に参加しました。日々の仕事や家事に追われていた朝晩のお祈りなどもいわず、ルーティン化して身が入らず、良心の糾明が真に行われているか疑わしいものだと改めて立ち戻つて考えるよい機会となりました。

私は特に今生の悩み苦しみから逃れたい、解き放たれたいと願ひ、「早く私を天国に連れて行ってください」と祈る日々でした。自己を顧みることばかり考え、嫌気がさし、世俗から逃れることばかり考える姿勢は、とてもキリストの人類愛のために命をささげた姿勢とは程遠いものです。私はこの四旬節の中で生まれ変わりたい。義に燃え命を燃やし尽くすことを願つた青臭い少年の日々を取り戻すように。

まずは、キリストが誰のために死んでくださったのか、復活して今もなお生きておられる御方が望まれる命の召し出し方を自問するよう、日々の祈りから反省していきたいと思ひます。(ザビエル教会 築瀬雄太郎)

る以外に方法がなかったのです。そしてこれがキリスト教の始まりであり、使徒たちを宣教へと駆り立てる原動力となりました。つまり神様にとつてイエス様の最も良い時とは十字架上で人々の罪の贖いとなった時だったのです。

復活は生まれ変わりと異なります。キリスト教に於いて生まれ変わりはあり得ません。なぜなら命の与え主である神様はその人そのものを肯定し、善しとしてくださっているからで

調はどうですか」と聞かれました。私が「入院の時と比べて、いたって元気になったよな気がします」と、答えるとスタッフの方々にそれぞれ精密検査を実施するように指示をされ、その検査の結果すべて完璧に処理されている旨の報告を受け、4〜5日程入院させて頂いてから退院しました。

毎日のお祈りを大切にすることは、幼い頃からの習慣となつております。満州国・大連から引き揚げる時、神父様やシスターから「ロザリオのお祈り(主の祈り)と天使祝詞そして使徒信経、だけはしっかり覚えておきなさい」と、教え

られ一緒に祈つたものです。「読み書きは出来なくても、お祈りだけは心と体で覚えなさい」と教えられたものです。教区の皆様方のご自愛、ご健康を心からお祈り申し上げます。アーメン

おことわり
恵さんの原稿は、2020年1月号から始まった「わたしの信仰体験」のためのものとして当時お預かりしていたものです。紙面の都合でご紹介が遅くなりましたこと、お詫びします。

会と催し 5月

1日(日) 復活節第3主日

3日(火) 聖フィリポ、聖ヤコブ使徒

8日(日) 復活節第4主日

14日(土) 世界召命祈願の日

15日(日) 復活節第5主日

16日(月) レジオナリエ・谷山教会・14時

17日(火) カリタス鹿児島会議・教区本部・14時

18日(水) デイリーノ神父叙階記念(1998年)

20日(金) 中野アカデミー・教区本部・19時

21日(土) デイリーノ神父霊名(聖ベルナルディーノ)

22日(日) 正義と平和協議会・教区本部・13時

22日(日) 復活節第6主日

▼世界広報の日(献金)

▼徳之島地区教会堅信式・10時

▼オリブの会及び共にこの道・教区本部・14時

24日(火) 司祭評議会・教区本部・14時

29日(日) 主の昇天

▼教区経済問題評議会・教区本部・14時

31日(火) 聖母の訪問

▼タム神父叙階記念(2007年)

【司教日程】 11〜12日常任司教委員会(東京) 16日鹿児島カ

リタス会議、18日中野アカデミー、19日大口明光学園、21〜22

日徳之島地区教会堅信式、24日司祭評議会、25日福岡大神学院

会議、26日聖マリア学園、29日教区経済問題評議会

祈りの意向

【祈祷の使徒会】
教 皇 信仰豊かな若者
日本の教会 困窮者との連帯

ウクライナの惨状について（3月29日）

レデンプトール宣教修道女会ドイツ本部から報告

本会のウクライナ管区は、現在21人のシスターたちと3人の志願者たちが、ウクライナの5か所で活躍しています。それは西ウクライナのリヴィウ内の3か所で、カームヤネツィ・ポジーリシクイとチェルニヒウです。チェルニヒウはベラルーシの国境に近く、ロシア軍がウクライナに侵攻する道にある町です。その支部のシスターたちは安全のために、現在リヴィウの本部に引き揚げられています。5人のシスターたちは、先日ドイツに移動して、今はオーストリア、ドイツのボン市やアイルランドでウクライナからの難民の支援を行っています。「戦争の恐ろしい現実」は、時を移さず西ウクライナに近づいたようです。26日に黒海やベラルーシから発射された3発のミサイルによって、リヴィウの町が爆撃されました。1本のミサイルは、一つの支部のすぐ近くの石油タンクを大火にしてしまい、もう1本は軍事施設に当たってしまいました。それは、ちょうどそのときポーランドに滞在していたバイデン大統領に對する脅しだったのか？今後ウクライナの西方がもつと爆撃されるのかわかりません。

シスターたちの大半はリヴィウに残り、何人かのシスターたちはカームヤネツィ・ポジーリシクイにいます。シスターたちは、支援を必要とされているところで手伝ったり、母親と東ウクライナから避難してきた子供たちのために集会を企画し実行したりします。シスターたちの修道院を開放して、可能な限り難民を受け入れています。ドイツの本部では、（幸いに1人の総顧問はウクライナ人です）各方面からいただいた寄付金で、ウクライナで必要とされている医療品、薬や大切な食料品を大量に購入し、何回も送ることができています。ウクライナ国内は、どこも困難な状態です。特にインフラが全部破壊されました。チェルニヒウ（現在ほとんどロシア軍に封鎖されている）のために2個の小さい発電機を送ることができました。少なくともごく僅かの電量を確保するためです（発電施設が破壊され、送電が不可能になっています）。ドイツまで避難してきたウクライナ人のグループ、

家族、母子のためには、ドイツのあちらこちらから住まいが提供され、優しく受け入れて頂いているので、難民たちは感動し、大変ありがたく思っています。「レデンプトール宣教修道女会」（翻訳・Srモニカ）

「ウクライナ」支援募金 鹿児島教区では、レデンプトール宣教修道女会を通してウクライナの支援することになりました。郵便振替口座をご利用ください。

郵便振替：02030-2-8359
 加入者名：カトリック鹿児島司教区
 *通信欄に「ウクライナ」と明記してください。

シスター奮戦記

純心聖母会川内天辰修道院

鹿児島教区の皆さま、こんにちは。純心聖母会川内天辰修道院です。私たちの修道院は、薩摩川内市にある鹿児島純心女子大学の開学の1か月前、1994年3月に開設されました。とはいっても、最初借家等に分散居住しての生活でした。

最初に7人の姉妹が派遣され、1人は修道院での奉仕、6人が大学での福音宣教の機会をいただきました。



クッキー作りに励む姉妹たち

た。大学チャペル完成までの間は、大学内のセミナー室を仮聖堂として使用し、ご聖体を安置する許可を当時の鹿児島教区長系永司教

様より頂き、ご聖体を中心とした福音宣教の旅がスタートいたしました。カトリック大学としての心臓部分である大学チャペルが完成し、祝別式が行われたのは、開学から1年後の1995年12月です。現在もご聖体のイエズス様がいらっしゃるこのチャペルは、学生、教職員の心の拠り所となっております。

ところで、私たちの修道院は大学から徒歩7分程度の所にあります。現在の修道院の建物が落成したのは修道院開設から6年後の2000年6月。ここで

やつと共同体の姉妹が一緒に生活できるようにになりました。修道院建築のために奔走してくださった恩人方には心より感謝しています。教育を通して福音宣教の使命を生きることが託された私たちの共同体は、途中、10余人の姉妹が生活し、修道院の居室が足りな

方々と一緒に道路愛護作業等にも参加し、輪番制の班長も担います。周囲にカトリックの人はいない地域ですが、クリスマスにはシスター手作りのクッキーをお渡しし、主の御降誕の喜びを分かち合っています。小さな福音宣教を大事にする日々です。

この便りが皆さんの所に届く頃には、桜の時は過ぎていると思いますが、桜の季節になると大学では桜の花々が一緒に神様を賛美します。神様の愛といつくしみを感ずるひとときです。桜の季節にはどうぞ薩摩川内市にある鹿児島純心女子大学にもお出かけください。



要理

自分は両親からも神様からも愛されているように周りの人も同じように愛されているという話をしてきました。ここに気付けばイエス様の「互いに愛し合いなさい」という言葉が心に響いてくるのではないのでしょうか。とはいっても誰とでもいつでも仲良くやっついていられるわけではありませんよね。ではどうして人と人とは上手くいかないことがあるのか考えてみましょう。

嫌いな人をどうしますか？

みなさんが生まれるずっと前にアメリカン・クラッカーというおもちゃが大流行しました。これは二つの重い球をぶつけてカチカチと音を出して楽しむものです。なぜ球がぶつかり合うかと言えば支点から二つの球までの紐の距離が同じだからです。というはことは自分と誰かとは神様からの距離が同じだからこそぶつかってしまうのです。そう考えるとお互いに神様から愛された者同士な

のですから赦し合おうとは思えませんか？以前に「カトリックの『愛』とは他の人を絶対的に肯定すること」とちよつと難しい表現をしました。この言葉の意味はドラえもんがのび太くんに貸してあげた「独裁スイッチ」を考えると簡単に分かります。このアイテムは嫌いな人の名前を呼びながらボタンを押すとその人が消えてしまうというスイッチです。のび太くんはこれをどう使ったでしょう？？またその結果は？？

ドラえもんは「これで邪魔者は消してしまえ」と不敵に笑います。

それはそうでしょう。自分が嫌いというだけで相手をこの地上から消してしまふなんてあまりにもひど過ぎます。しかし：：続きは来月に！

